

CS-Lung参加施設紹介

広島市立広島市民病院 呼吸器内科

内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際について

病院と診療科の紹介

- 広島市立広島市民病院は広島市の交通の要衝としての立地条件と**県内最大の病床数（診療科目33科、病床数743床）**に恵まれ、「患者さんと協働して、心のこもった、安全で質の高い医療を行う」ことを基本理念に、広島市の中核病院として、**がん診療連携拠点病院としての高度医療と、北米ER型救急を目指した救急医療**の両立に積極的に取り組んでいる病院です。
- 内科系診療科として、**総合診療科、内科（消化器内科）、循環器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、リウマチ・膠原病科**があり各科で高度専門的診療を行っています。



病院と診療科の紹介

- 広島市立広島市民病院呼吸器内科は、初期研修医、専攻医、指導医、救急医が協力して多種多様な呼吸器救急疾患の診療にあたっています。
また、臨床腫瘍科、呼吸器外科、放射線治療科も国内有数の実績を誇っており、**チーム医療**により、多くの肺癌診療を行っております。

呼吸器内科および臨床腫瘍科スタッフ



カンファレンスの様子



臨床腫瘍科スタッフと協力して診療をおこなっております。

診療実績（2020年度）

当科での外来患者数は約1300人/月（約60人/日）でした。通常期37床の病床を有し入院患者数は延べ13298人、平均在院日数は11.8日でした。主に肺癌に対する化学療法のために入院された方が約550人で、外来化学療法は約2200件でした。また、年間約340件の気管支鏡検査を実施し肺癌を含めた呼吸器疾患の診断を行っています。

内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際について

広島市民病院初期臨床研修のポイント

- 救急外来では肺炎、気管支喘息発作、COPD増悪、COVID-19感染症など多くの呼吸器疾患に対する対応力を身に着けることができます。
- 入院診療では、肺癌、間質性肺炎をはじめとした専門知識を要する疾患を経験豊富な指導医とともに診療することができます。
- **呼吸器内科・外科・放射線治療科合同カンファレンス**および呼吸器内科・臨床腫瘍科病棟カンファレンスを通じて各指導医の治療方針等を学ぶことができます。
- **週1回上級医によるミニレクチャー**を行っており、呼吸器疾患についての基本的知識を習得できます。
- 上級医の指導の下、**各研修医に1症例のまとめ**を行っていただくことで学会発表相当の経験ができます。（学会発表も積極的に行っていただいています）

初期研修医の研修目標

- 内科診療の基本を身につけ、主な呼吸器疾患について生理検査・画像検査を含めて幅広く学び、**呼吸器内科領域の基本的な診療ができる。**
- **がん診療**の基本を学び、肺癌を主とした悪性腫瘍の基本的な診療と薬物療法、副作用対策ができる。
- **新型コロナウイルス感染症**を含む感染対策と呼吸器感染症の診断と治療ができる。
- 呼吸器内科の手技（**胸腔穿刺、胸腔ドレナージ、気管支鏡**）の基本を身につけることができる。

内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
- 3. 呼吸器専門研修のポイント**
4. 研修の実際について

広島市民病院呼吸器内科**専門医**研修のポイント

- **症例数は極めて多く**、ほとんどの呼吸器領域の研修が可能です。
- ガイドラインに準拠した診療スタイルを身につけることができます。
- 胸腔穿刺、胸腔ドレナージ、気管支鏡検査（EBUS-GS、EBUS-UT、EBUS-TBNA、BAL、TBLB、クライオバイオプシー）は**後進の指導ができる程度まで繰り返し経験することができます**。
- 個々のニーズに合わせた働き方の選択が可能です！
- **完全当直、待機医師制度**を採用しており、オン・オフが明確化されています。
- チームによる教育・研修体制を組み、常に上級医からの指導を受けることができます。
- 希望する**専門医の取得**が可能です。

広島市民病院呼吸器内科**専門医**研修：取得可能な資格

- 新専門医制度に対応した、**総合内科専門医**、**呼吸器専門医**、**がん薬物療法専門医**の取得が可能です。
- 学会認定の資格として、**気管支鏡専門医**、**ICD**の取得が可能です。
- 専門医などの資格を得るために必要な学会発表、論文作成について、上級医がきめ細かい指導を行っており、多くの業績をあげることが可能です。
- 広島大学病院呼吸器内科と連携し、**大学院への進学も支援**します。

臨床研修教育病院・認定学会（呼吸器内科関連）

日本内科学会内科認定医制度教育病院

日本呼吸器学会認定施設

日本呼吸器内視鏡学会認定施設

日本臨床腫瘍学会認定研修施設

日本感染症学会連携研修施設

当科での研修の方針

医師として求められる基本的な資質・能力

1. プロフェッショナリズム (Professionalism : PR)
2. 総合的に患者・生活者をみる姿勢 (Generalism: GE)
3. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (Lifelong Learning : LL)
4. 科学的探究 (Research : RE)
5. 専門知識に基づいた問題解決能力 (Problem Solving : PS)
6. 情報・科学技術を活かす能力 (Information Technology : IT)
7. 患者ケアのための診療技能 (Clinical Skills : CS)
8. コミュニケーション能力 (Communication : CM)
9. 多職種連携能力 (Interprofessional Collaboration : IP)
10. 社会における医療の役割の理解 (Medicine in Society : SO)

医学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版

医学教育モデル・コア・カリキュラムに述べられている「医師として求められる基本的な資質・能力」をもとに、学生時代の医学教育を実臨床でさらに発展できるように、教育・指導を行っています。

内容

1. 病院と診療科の紹介
2. 初期研修のポイント
3. 呼吸器専門研修のポイント
4. 研修の実際について

広島市民病院呼吸器内科 週間スケジュール

	午前	午後
月	チーム回診	気管支鏡検査 入院症例カンファレンス
火	気管支鏡検査（クライオバイオプシー、局所麻酔下胸腔鏡検査等） チーム回診	研修医ミニレクチャー
水	呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科カンファレンス チーム回診	
木	チーム回診	気管支鏡検査 入院症例カンファレンス
金	チーム回診	気管支鏡検査



日本呼吸器学会 呼吸器内科領域専門研修制度施設群

1. 基幹施設	地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院	広島県広島市
2. 連携施設	県立広島病院	広島県広島市
2. 連携施設	広島赤十字・原爆病院	広島県広島市
2. 連携施設	広島大学病院	広島県広島市
2. 連携施設	国家公務員共済組合連合会吉島病院	広島県広島市
2. 連携施設	三原市医師会病院	広島県三原市
2. 連携施設	地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立北部医療センター一安佐市民病院	広島県広島市
2. 連携施設	広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院	広島県尾道市
2. 連携施設	マツダ株式会社マツダ病院	広島県安芸郡府中町
2. 連携施設	医療法人JR広島病院	広島県広島市
2. 連携施設	国家公務員共済組合連合会呉共済病院	広島県呉市
2. 連携施設	国家公務員共済組合連合会呉共済病院忠海分院	広島県竹原市
2. 連携施設	独立行政法人国立病院機構東広島医療センター	広島県東広島市
2. 連携施設	独立行政法人国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター	広島県呉市
2. 連携施設	独立行政法人労働者健康安全機構中国労災病院	広島県呉市
2. 連携施設	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター	岡山県岡山市
2. 連携施設	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院	岡山県倉敷市
2. 連携施設	広島県厚生農業協同組合連合会廣島総合病院	広島県廿日市市
2. 連携施設	市立三次中央病院	広島県三次市
3. 特別連携施設	公立みつぎ総合病院	広島県尾道市
3. 特別連携施設	広島市医師会運営・安芸市民病院	広島県広島市
3. 特別連携施設	地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立舟入市民病院	広島県広島市
3. 特別連携施設	広島県厚生農業協同組合連合会吉田総合病院	広島県安芸高田市
3. 特別連携施設	庄原市立西城市民病院	広島県庄原市
3. 特別連携施設	医療法人社団輔仁会太田川病院	広島県広島市

初期研修医の声

- 当院での初期研修を経験してまず症例数の豊富さを実感しました。急性期からがん診療などの慢性期疾患までかなり幅広い症例を経験することが出来ます。指導体制としては指導医・専攻医・初期研修医の屋根瓦方式で専攻医の先生方の働き方、対応力をより身近にみることが出来ます。指導医の先生方のより専門的な知識を吸収できる垣根の低さも魅力の一つだと感じました。
- また呼吸器外科も有する当院ではカンファレンスなどを通じて治療方針の相談・情報共有がしやすい環境が整っています。呼吸器疾患に対する治療を最初から最後まで追えるので未熟な知識ながらもチームの一員として患者さんに関わることが出来ます。
- 気管支鏡の症例数も非常に多く、初期研修医も中心となって手技を行えます。胸腔穿刺・胸腔ドレナージも当院の研修でほぼ確実に経験・習得できるので救急外来での対応能力があがり自信に繋がります。

専門研修医の声

私は、多くの症例・手技を経験したいという思いから広島市民病院での後期臨床研修を希望し、配属していただきました。

実際に働いた印象として、想定通り悪性疾患から良性疾患まで、非常に多くの症例を経験することができます。また、科内の雰囲気の良いため上級医に相談しやすい環境が整っており、診療からプライベートまで、多くの場面で助けてもらっています。手技に関しても、気管支鏡検査だけでも10件/週と非常に症例が豊富であり、充実した研修を送っています。救急科の先生や他科の後期研修医にも優しい人が多いため、他科とも垣根低く仕事ができています。当番制のため休日を確保することもでき、J-OSLERの症例に困ることもありません。

専門研修先で悩まれている先生がおりましたら、非常に良い研修先ですので参考にさせていただければと思います。

広島市立広島市民病院 呼吸器内科

https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/search/department_dtl.php?a=4&m=1&

広島市民病院 基本理念

患者さんと協働して、心のこもった、安全で質の高い医療を行います。

基本理念実現のための3つの柱

1. チーム医療を推進し、信頼され満足される医療を行います。
2. 地域医療機関との連携のもとに、救急医療と高度で専門的な医療を行います。
3. 健全な病院経営を行うとともに、すぐれた医療人の育成に努めます。

